



9月議会報告

9月18日、9月議会の本会議がはじまりました。日本共産党市議団は、中村あさと市議を含む6人全員で代表・一般質問を行いました。

【一般質問】

安心・安全のまちづくりへ

広島市北部で起きた豪雨による土砂崩れで多くの人命が失われました。大規模な自然災害は地球温暖化とともに、これまでの常識を超え、全国どこでも起こる可能性があります。

和歌山市では業者主導の宅地開発がすすめられた結果、無秩序と言ってもいいほどのまちの現状になっています。そして、今も田が埋め立てられ、宅地造成がどんど

ん進んでおり、新たな浸水が起こっている地域もあります。これからも局地的な豪雨や地震が予測される中、ますます被害が大きくなるのではと心配されます。

これからのまちづくりは災害を未然に防ぐために、避災という考え方を進める必要があることから、市長にまちづくりの進め方についての基本的な考えを質しました。

市長は大規模な自然災害等に対し、人命の保護を最優先として、つつ被害を最小限に抑えられる



秋たけなわ、という気候になってきました。暑くもなく寒くないという時期は本当に短いものになってしまった感があります。

特に今年はカラッと暑さがほとんどなく、ずっと梅雨が続いていたような夏でした。それだけに秋を心待ちにしていた人も多かったのではないのでしょうか。私は相変わらず夏が好きですが。

実りの秋、天高く馬肥ゆる秋です。スポーツ、読書、行楽、食欲…みなさんはどんな秋をお過ごしになりますか。



日本共産党

かとうなおと
加藤直人
です



「渦巻く市民要求の実現を」

先の市長選挙の際に「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」の市政アンケートの回答が3600通を超えて寄せられたという話。その数はこれまでの中間アンケートという。以降は私の独断：和歌山市の世帯数は約15万。その半数7,5万世帯にアンケートを配布したらしい。一通の陰には10倍もの要望が渦巻いているとすれば、ちょうどこの半分の世帯が今回のアンケートに反応してくれたと

いうことになりはしないか。50%の世論というのは、ほぼ大勢を占める。示された市民要求は国保料・下水道料金の値下げ、子どもの医療費の拡大、雇用改善、公共住宅、身近な公共事業やリフォーム事業、産廃計画撤回 etc. アンケートに綴られたであろう切実な声に基づいて、これからの共産党の活躍が光ってくる。要求実現と革新和歌山市への発展、共産党の躍進的拡大と思いは膨らんでいく。託されたアンケートが導いてくれる。



適切な土地利用の推進に取り組むと答えました。

生活保護にあたる ケースワーカーの増員を

生活保護制度は憲法25条に定められた「健康で文化的な最低限度の生活を送る権利」を保障するもので、生活に困っている人は誰でも申請することができます。

市町村には生活保護を受給する人の相談や支援をするケースワーカー

という職種があり、国でその定数基準が定められています。和歌山市では保護受給者80世帯当たりについて一人とされている基準を大きく超え、121世帯を一人で受け持っています。適切な相談業務に支障をきたすことから直ちに増員をすること、その増員についても非常勤ではなく正規職員が配置されるように求めました。

市は業務に支障をきたさないよう増員を要望しており、継続して取り組むと答えました。

【一般質問】 生活困窮者自立支援法

政府は昨年8月に生活保護法の一部を改正すると同時に12月には「生活困窮者自立支援法」を可決しました。この法律はこれまで法の狭間にいた生活保護には至らないものの、生活に困窮している人を救済するという点で評価できるという意見もあります。しかし、この法があることを理由に、生活保護を受けられるにもかかわらず、窓口で申請を拒

むいわゆる「水際作戦」の道具となることが懸念されています。

市は、生活保護制度は現行通り運用し、新しい法については庁内でプロジェクトチームを作つて体制を検討していると答えました。

この法律は来年4月から施行されますが、施行後も当事者や関係者の意見を取り入れ現状に即して運用が図られるよう求めました。

日本共産党と後援会の 学習決起集会

10月13日(月) 14:00～
JA会館 多目的ホール

辰巳幸太郎参議院議員がお話します。



日本共産党演説会

11月8日(土) 19:00～
市民会館大ホール

山下よしき書記局長がお話します。



無料 法律相談

10月14日(火) 13:00～
10月29日(水) 18:00～

いずれも花山の森下さち子事務所にて
事前に予約のお電話をください(市役所控室 森下まで)

Tel 435-1113

〈さっちゃん祭り〉に来てね!

11月9日(日)11:00～
鳴神社 東の広場にて



◆模擬店

おにぎり、豚汁、餅、野菜など

◆餅つき

◆健康チェックコーナー

血圧、骨密度、口コモ診断など

◆子どものコーナー

けん玉、コマ回し、絵本の読み気かせ、竹馬

◆相談コーナー

生活、法律、行政など

*参加費無料 どなたでも参加できます

*終了は午後2時頃を予定しています

森下さち子のブログ
「さっちゃんはね・・・♪」

http://sachikogo.exblog.jp/



「赤毛のアン」がどのように誕生し、私たちの手に届くようになったのか、翻訳者である村岡花子の生涯を描いた今回の連ドラは様々な事実に基づくフィクションだそうです。主人公の花子とともに泣いたり笑ったりの半年を過ごしてきました。



朝の連ドラ『花子とアン』が9月27日に最終回を迎えました。モンゴメリの

の曲がり角を曲がるときつとこの先には良いことが待っている」というものでした。花子自身、関東大震災、息子の病死、太平洋戦争といくつもの曲がり角があつたと言っています。きっと誰もが突き当たる曲がり角。まっすぐ歩いて行きたくても、なかなかそうはいきません。曲がった先にあるものが「良いこと」になるかどうかは自分で歩いて確かめるしかありません。

